

静岡市議会  
自由民主党静岡市議団  
会派広報

# 街道すおか

No.5  
発行  
自由民主党  
静岡市議団広報部

静岡市議団の会派広報をお届けします。



こんにちは！  
剣持邦昭です。

鹿児島県における茶の摘採は、種子島が最も早く三月に、四月上旬には鹿児島本土において新茶が摘まれます。静岡茶に対し、いち早く鹿児島の新茶が市場に回り値段を決めてしまうので、鹿児島茶の非常に大きな存在感をこの視察で十分感じました。

## 鹿児島茶を視察して感じた 静岡茶独自の魅力創出が鍵。

鹿児島県庁と知覧町を訪問、茶栽培の現状を視察！



鹿児島県と違う点は、茶生産における組織化により、機械化・大量生産を充実させていたところで、競争を意識した運営である点と感じましたが、山間地の険しい傾斜地で個人経営の多い静岡茶に関してはそれらにどう対抗し、あるいはどのような点を参考にし、静岡茶の魅力を引き出ししていくことが出来るかは今後の課題です。



## 平成19年度、静岡市議会2月定例会において、 自民党市議団の代表質問を行いました。

政令市になって2年を経過し、今後静岡市をどのように発展させるべきかを過去の実績も踏まえ、市長ならびに関係局長へ41項目の質問をしました。

### 主な質問内容は！

- 市長の政治姿勢
  - 4年間に於ける合併効果
  - どんな政令市を目指すのか
- 市政運営について
  - 予算編成における歳出削減と財源確保
  - 財政運営の方針について
- 市の魅力づくり
  - 南アルプスの世界自然遺産登録について
  - 大御所家康公駿府入城四百年祭事業
  - 中心市街地のまちづくり
  - お茶の総合的振興策
  - 清水港の将来と課題
- 安心・安全・便利
  - 三病院の体質強化
  - 新公共交通システム(LRTなど)の構想について
  - 静岡・清水の水の相互運用と料金一元化について
  - 下水道事業の現状と整備方針
- 少子・高齢化、教育福祉
  - 少子高齢化社会への対応
  - 清商建設に向かって
  - 清水工業跡地への養護学校設置について
  - 複式学級の非常勤講師配置について
- まちづくり
  - 長沼大橋の立体化計画の推進
  - 新東名静岡SAのスマートインター設置

### 小嶋静岡市長の答弁。



○ 静岡合併は、中核市であった静岡市と特例市であった清水市という全国でもまれな大型合併でありました。しかも合併後二年間で指定都市に移行するなど、平成の大合併の成功事例とされております。それは長年、同一の生活圏にありながら違う都市であったことによる市民の不便さを解消し、市民サービスや都市基盤整備の改善が急速に図られ、また合併による職員数の大幅な減により生じた行政改革効果等がスケールメリットとなり、それを生かした大規模事業の実施が可能になりました。

また、市民の負担を最小限にして大きな事業に取り組むことができるようになったというふうに思います。

○ 指定都市として、さらなる飛躍を図っていくためには、南アルプスなどに代表される自然環境と、大都市としての都市機能、心豊かな市民性をあわせ持つという本市のバランスのとれた優位性を一層伸ばさせてまいりたいと思います。

また、新東名、富士山静岡空港などの大規模社会資本をまちづくりに活用し、本市の多彩な地域資源を内外に積極的に売り出し、静岡ブランドを確立してまいります。

このような取り組みを通じて、日本一住みたくなるまちを市民団体と行政との協働により実現をしてみたいと考えております。

○ 予算編成に当たりましては、限られた財源の重点配分を心がけ、静岡ブランドの形成、次世代の育成支援、魅力溢れる都市の創造、安全・安心・快適な環境整備を中心として、ハード・ソフト両面にわたって積極的な対応を図ったところであります。

(二月定例会の答弁より抜粋)

### 編集後記

今回の広報には、今までの実績よりも将来への課題等を会派議員から集め掲載いたしました。静岡っていいなと思えるような静岡ブランドや安心安全の政策提言をし、会派一丸となって取り組んでいるところを、この広報誌で少しでも理解していただけたらと思います。

《発行責任者》  
自由民主党静岡市議団広報担当  
深澤・牧田・繁田・亀澤  
〒420-0853  
静岡市葵区追手町5番1号  
054-254-2111(内線4511)



静岡市議団のブログです。ぜひご覧下さい。  
<http://blogs.yafoo.co.jp/shizujimin>

### INFORMATION

## ご理解ください。

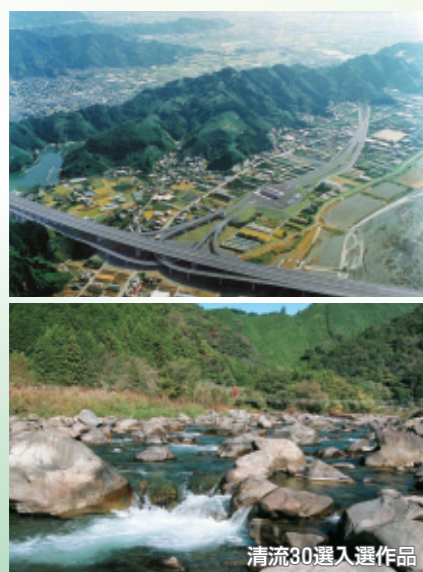
### 政治家の寄付等禁止について

政治家は、公職選挙法により、町内のお祭りに寄付をしたり、祝儀や酒を差し入れたり、町内会のスポーツ大会にカップや記念品を贈ったりすることは、財政上の利益の供与に当たるので禁止されています。また、年賀状等の挨拶状を出すことも禁じられています。

政治に携わる以上、法の遵守は厳しく求められます。ご理解いただきますよう、お願いいたします。

# 静岡市三区の政策研究

各区から選出された自民党会派の議員が区ごとに街づくりの研究に努めます。



清流30選入選作品

- (1) 大規模資本の完成とインパクトをどう生かすか
- (2) 恵まれた地域資源をいかに活用するか
- (3) 特区を活用した街づくりの研究
- (4) 葵区の安住人口をいかに増やすか
- (5) 世界遺産を目指す南アルプスに至る山間地域の振興方策を探る

## ◎葵区の課題

- 活気あふれる中枢機能を担うまち
- 歴史と文化が薫る定住のまち
- みどりと水の豊かな自然と触れ合うまち

豊かな自然を有し、歴史と伝統のある行政・経済の中枢機能が集積する葵区。



- (1) 登呂公園・遺跡と日本平、日本平動物園の観光についての調査・提言を行う
- (2) 丸子池田線、石田街道、一五〇線等の早期整備のお願い
- (3) 駿河区全体の交通アクセスの整備
- (4) 駿河区長との話し合いによる、区全体の課題の検討
- (5) 講演会の計画・実施

## ◎駿河区の課題と取り組み

安全・安心な「まち」、住みやすい駿河区を目指して。



- (1) 医療体制の充実
- (2) 桜ヶ丘病院建設の要望、陳情
- (3) 救急医療(救急センター設置)について等
- (4) 清水港整備事業の推進
- (5) 日の出地区の親水空間整備とソーラス条約の緩和について
- (6) 農林水産業の推進
- (7) 静岡県柑橘試験場(駒越地区)の移転に対する取り組み
- (8) 畑整備事業の推進
- (9) 遊休地対策
- (10) マグロの養殖事業への取り組み
- (11) 中部横断自動車道の早期完成への働きかけ
- (12) 中心市街地及び商店街の活性化対策
- (13) JR清水駅西口再開発整備事業に関する
- (14) 三保、久能海岸の侵食対策について

## ◎清水区の課題

人口減少、産業の空洞化等、清水区において今後取り組むべき課題は静岡市の将来を左右する問題である。



# 静岡市の様々な課題に各グループでチャレンジ!!

## 福祉・教育グループ

授産所訪問で現状の把握と精査。



▲北星学園余市高校を訪問

城内 里・井上恒弥・栗田裕之  
千代公夫・牧田博之

昨年引き続き、今年も5名の同メンバーで進むこととなりました。グループ全体としては、福祉・教育を公平に扱いたいとの気持ちはあるのですが、2つとも奥深い課題であり、昨年度は教育のイジメ・不登校児などの分野に取り組んできました。本年は、そのまともとすべき、違った角度での講演会を企画して、施策に反映していきたいと思っています。福祉の分野においては、障害者自立支援法の施行に伴い授産所などの現況を把握するべく、授産所訪問を考えております。個々の授産所には、それぞれの課題を抱えていると思われる中、これらの問題を精査することが最初の仕事と思われれます。また、難病の問題についてグループの知識を高める意味も含めて勉強会を計画したいと思っています。

## 環境・農林水産・港湾グループ

茶の普及拡大や清水港の利用促進など、幅広く取り組みます。



▲知覧町の茶栽培の機械化を見学中

石川久雄・大橋英男・青木男  
佐地茂人・深澤陽一

静岡市は今年シティーセールスの中で茶の普及拡大について考える取り組みをします。環境に関して、市民と取り組む環境保全活動を模索するため、第二回環境フォーラムとして、マイパツグ・マイ箸・マイカップなどの普及に取り組み実例を紹介する企画を考えております。清水港の利用促進に関して、今年度から行政で取り組む、清水港ビジョンの策定に対し、会派としても考えを主張できるよう調査に取り組みます。農業に関して、地産地消について考えるため、市内でだけだけのものが何処で収穫され、またブランドに出来るのかといった基礎的な情報収集に取り組みます。森林保全に関して、間伐材利用の方法について広く検討をする考えです。

## 防災・防犯・まちづくりグループ

新潟中越沖地震に学ぶ、安全安心なまちづくり。



▲佐世保商店街を視察

剣持邦昭・石上顕太郎  
遠藤裕孝・亀澤敏之

3年前の中越大地震の余韻さめやらぬ中で、新潟中越沖地震が柏崎市を中心に発生しました。前回の教訓で対応策が練られていたにもかかわらず、インフラを中心として大きな被害をもたらしました。防災に強いまちづくりにいって昨年に引き続き研究活動を行います。また、都市化が急速に進む中で、市民が安心安全に暮らせるまちづくりはどうあるべきかという視点で防犯研修活動も実施してまいります。こうしたポイントを踏まえながら中心市街地と商店街の活性化、またコンパクトシティーの都市機能の充実をいかに図るべきか情報収集・研究活動を実施いたします。

## 観光・南アルプス世界自然遺産調査グループ

山梨、長野、静岡の十市町村が世界遺産登録を目指して推進協を設立。



▲素晴らしい南アルプスのシンポジウム

近藤光男・田形清信  
増田進・繁田和三

我がグループと会派が目標にしていた第一歩が進んだ。そして自民党と静政会両会派で「素晴らしい南アルプス」と題しシンポジウムを開催した。五百人を上回る入場者で、南アルプスを理解して頂く良いイベントが出来た。今年度の取り組みは、  
①世界自然遺産登録された先進地の登録、経緯と現状と課題について調査を実施。  
②白神山地の現状と登録後の課題点  
③南アルプス現地の現状と課題点  
④アクセス道路の現状と課題  
⑤観光資源としての現状と課題  
⑥ビジターセンター設置への課題  
⑦関連講演会の開催  
市内観光重点地域の現状と課題について  
⑧各施設の入場(入館)者の推移と集客対策  
⑨各施設改善の必要性